

足高SSH通信

第47号
H28. 7. 25
足利高校SSH部

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/ashikaga/nc2>

オープン理科教室（第8回）

①ねらい 地域の小学生に科学の面白さや不思議さを体験してもらおうと共に、本校生がTA（ティーチングアシスタント）をすることで、生徒のコミュニケーション力を高める。

②実施概要 7月16（土）、足利市生涯学習センターで、SSHオープン理科教室が行われました。

当日は市内の小学生74名が9の実験・工作プログラムに参加しました。

写真は実験プログラムの一部です。



テンセグリティ（わりばしを使った球体）



ミクロの世界へ



偏光万華鏡



スーパーボールロケット



鳥の巣



たたみかえ折り紙

③感想 参加者の感想

- ・さまざまな実験がむずかしかったけれど、とても楽しかったです。
- ・ふだんできないことをやらせてもらってすごく楽しかった。理科研究の参考にします。
- ・理科が得意じゃなかったけど、理科ってこんなに楽しかったんだということが分かり、自学とかでもやってみたくくなりました。
- ・静電気の実験をやってほしいです。

※中学生になってもこのような機会がほしいです。

※中学で役に立つような実験をしてほしい。

- ・今回で3回目ですが、何度来ても楽しいです。特に鳥の巣作りをするのは初めてで、とても楽しかったです。
- ・虹を作る実験がなくなってしまったので、またやりたい。
- ・テンセグリティの完成感がうれしかった。
- ・スライム作りで材料が全部液体なのに、どろどろしたものができてすごいと思った。

TA (生徒) の感想

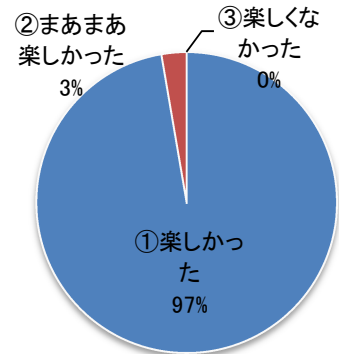
- ・教えること、理解させることの難しさを知った。
- ・子供にしっかりと説明できて良かった。子供がやっていくうちに「楽しい」といつてくれた。
- ・子供一人ひとりの理解力によって、教え方やどこまでこちらがやるべきかなど細かい点を気を付けることが大切だと思った。
- ・とても疲れたけど子供達が嬉しそうにしていたので良かった。
- ・説明を終えた後、子供達が「ありがとうございます」ときちんと言っているのを見て、礼儀正しいと思った。
- ・小学生を相手に説明や案内などうまくできるか不安だったが、よくできたと思う。
- ・人に教えることの楽しさがより深まり、とても充実した体験となりました。
- ・(ダブルリング飛行機を)飛ばしたとき、小学生が楽しそうに嬉しそうに「飛んだ!」と言っているのが印象的だった。
- ・去年に比べて、小学生に教えることがうまくなったと思った。

④成果と課題

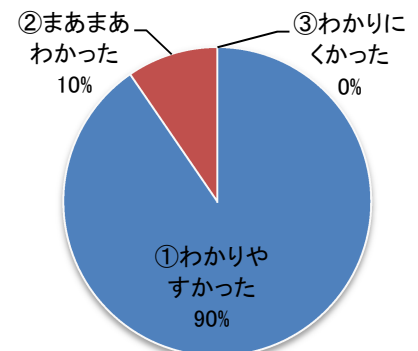
参加した小学生のほとんどはオープン理科教室を楽しみ、機会があればまた参加したいという手応えのあるアンケート結果になった。複数回参加している子供も多く、以前の実験を懐かしむ意見も見られた。注目すべきは参加者の感想の※にあるように、「中学」に関連した意見があったことである。この催しが小学生の心に理科の楽しさ・不思議さの「種」をまき、それが芽生えつつあるのではないかと感じられた。と同時に、中学生に対応した何かができないか模索する必要性をさらに強く感じた。

質問2の結果や本校生徒の感想より、生徒自身も教えることに慣れ、その楽しさ・難しさをさらに感じるようになったようだ。通り一遍の方法ではなく、子供によって話し方や説明の仕方を変えるなど、工夫する様子も伺えた。それらが学年を経てもうまく継承され、「足高の優しいお兄さん」像が近隣に深く浸透されることを期待したい。

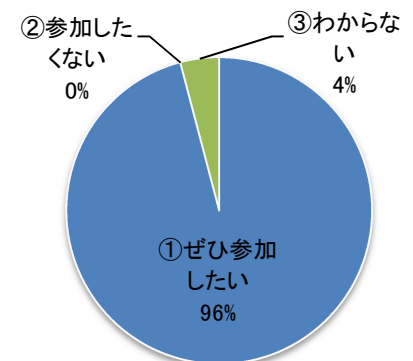
子供へのアンケート結果 (抜粋)



質問1：今日のオープン理科教室は楽しかったですか。



質問2：足利高校の生徒の説明は分かりやすかったですか。



質問3：また機会があったら参加したいですか。